

学校と成績

堂本学

## 内容

学校と成績.....	1
勉強しない小学生の子供を怒るのは間違っている!?勉強をしない子供の対処法勉強の意味.....	4
学校の成績は意味ないのか?勉強する本当の意味とは? .....	6
まとめ .....	7
著者：つかさ.....	9

『筆者：堂本 学』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

勉強しない小学生の子供を怒るのは間違っている!?勉強をしない子供の対処法勉強の意味  
小学生くらいの子供は、勉強が楽しいと感じる子と遊びたいという欲求が強い子供がいます。とくに、遊びたいという欲求が強い子供は、勉強をあまりやりたがらない傾向にあるようです。

勉強をしない子供に対して、怒る親もいますがハッキリ言えば間違っています。どうして、勉強をしないのかや勉強をしない小学生に対し、どういう対処をしていけば良いのかをお伝えしていきます。どうして勉強をしないのかを考える世界を広げるため将来の選択肢を増やすため何かを学ぶ方法を身に付けるため生きる力を身に付けるため努力し続ける力を付けるため自信をつけるため親が勉強をする意味を伝える方法勉強しない子供が受け入れやすい言葉とは？

どうして勉強をしないのかを考える小学生の子供が勉強をしない理由をお伝えする前に、どうして子供は勉強をする必要があるのかをお話ししましょう。

当然、「将来のため」という、ありきたりの返答をする人は多いです。確かに、将来のためでもあります、それだけではありません。勉強をする意味というのは、以下のような意味も含まれているのです。・世界を広げるため・将来の選択肢を増やすため・何かを学ぶ方法を身に付けるため・生きる力を身に付けるため・努力し続ける力を付けるため勉強をする意味は、一つだけではありません。

それぞれ、紹介していきましょう。世界を広げるため勉強をする意味というのは、「世界を広げるため」ということが挙げられます。勉強をするということは、これまで触れてこなかった分野に触れることができるのです。たとえば、日本の歴史や昆虫の生態など、様々な分野に触れることが可能になります。

これまで知らなかったことを知ることで、世界は広がっていくのです。さらに、面白い発想ができたり、新しいことに興味を持つきっかけにもなるでしょう。

つまり、勉強をすることで世界が広がるということは、柔軟な考え方もできるようになるということになります。将来の選択肢を増やすため勉強をする意味というのは、「将来の選択肢を増やすため」ということが挙げられます。勉強をすることで、なりたい職業や、やってみたいことが見つかるかもしれません。

小学生のころから、色々なことに興味を持たせることも大切です。何かを学ぶ方法を身に付けるため勉強をする意味というのは、「何かを学ぶ方法を身に付けるため」ということが挙げられます。

スマホやパソコンの操作ができるのは、ひらがなやローマ字が分かるからです。料理や買い物ができるのも、計算ができるからだと言えます。新しく何かを始めようとしたときに、何かを学びたいと思う時、必要な基礎知識を身につけるためにも勉強は大切なのです。

私たちが名何気なく行っていることの大半は、勉強のたまものだと言っても過言ではないでしょう。生きる力を身に付けるため勉強をする意味というのは、「生きる力を身に付ける

ため」ということが挙げられます。

勉強とは知識を増やすために行うのではなく、勉強を通して思考力は発想力も育まれていきます。確かに、「将来使わない勉強」もありますが、これは、考えることやイメージすること、そして努力することなどに役立っているのです。

努力し続ける力を付けるため勉強をする意味というのは、「努力し続ける力を付けるため」ということが挙げられます。勉強が苦手でも努力をし続けていることによって、克服することも可能です。たとえば、高校受験や大学受験などの前には、他のことを我慢してでも勉強を頑張る必要があります。努力をし続けることで自分自身を制限するという力が、身に付いていくのです。「人生は冒険だ」と言いながら、人の力を借りないといけないと冒険ができないなら、それは全く意味が無いことだと言えます。

しかし、何をやるにしても、努力をする力や自分を制御する力を身につけていれば、社会に出ても役立つのではないのでしょうか。

自信をつけるため勉強をする意味というのは、「自信をつけるため」ということが挙げられます。勉強をしていくことで、「わかった!」「できた!」という事は一度は経験したことがあるでしょう。そういう自信は、次のやる気へとつながっていくのです。

勉強というのは出来ないことを「出来るようになる」という、自信をつけるための行為でもあります。さらに、勉強をすることで人を成長させることもできるので、決してマイナスになることはないでしょう。

親が勉強をする意味を伝える方法勉強をする意味を、子供から質問されたら何と答えるでしょう?「将来困るから」「良い職業につけないから」「学歴が無いと就職がむづかしいから」だいたい、以上のような返答をする場合が、多いのではないのでしょうか。しかし、勉強をする意味を子供に伝える場合は、気を付けないといけないことがあるのです。

「どうして勉強をしないといけないの?」そういう子供の純粋な疑問を、面倒くさそうに「良いからやりなさい!」と言っても、子供は勉強しようとはしません。じゃあ、どうすれば良いのか。

筆者なら「私が国語をサボっていたから、ライティングの作業で困ることが幾度となくあった」と、そのように具体的に自分の経験を話すでしょう。さらに、国語をサボっていたから、街中にある看板の漢字の読み方も困ることがあるということも、付け加えるかもしれません。

筆者のように、決めつけずに経験的に物事の話をするれば、必ず子供は分かってくれるものです。疑問点が多い子供は「じゃあ、理科や社会はなぜ必要なの?」と、そのように質問を続けるかもしれません。子供は「大人になったら使わない教科もあるけど、なぜ勉強するのか?」という疑問を、持っていることもあります。

実際に使っていない教科があったとしても、「使わなくてもやるの!」「黙ってやれ!」と、ごまかした答え方をしてはいけません。そういう場合は、「あなたならどう思う?」「その知識を使うとすれば、何に役立つと思う?」と、子供の意見を聞きながら一緒に考えるほうが

良いです。子ども自身も、大人と一緒に寄り添う態度を見せれば、ごまかされるよりも前向きに勉強をする意味を捉えてくれるでしょう。

勉強しない子供が受け入れやすい言葉とは？勉強をしない子供に対して、「勉強しなさい！」と言っても反発して、余計に勉強しなくなる場合が多いです。しかし、何も言わないで放っておくと、本当に勉強をしないので悩むところでしょう。

色々な研究から、叱ること自体は悪いことではありません。ただ、叱るだけではなく褒めることもしたりして、日ごろから親子の間で信頼関係を築いておくことが大切です。感情任せで「勉強しなさい！」と言っても、子供はなかなか受け入れてくれないでしょう。

それどころか、反発した心だけが残り、余計に勉強しなくなる可能性もあります。一番ダメなパターンが「何をやってもダメな子ね」「好きにしなさい」というような、突き放した言葉を使うのも子供の反発を買うだけです。

たとえば、「ゲームばかりしているからテストの点数が下がっている」など、直接やめてほしいことや状況を指摘したほうが良いでしょう。

まとめ

子供が勉強をしないという理由で、イライラしてしまう親も多いでしょう。しかし、現代の子供はスマホやゲームなど、手軽に遊べる楽しいものに囲まれています。つまり誘惑が多い現代では、勉強に集中すること自体がむづかしいのです。子供にやる気を起こさせるためには、勉強すべき実利をしっかりと伝えるほうが良いでしょう。

また、将来の夢や進路などの目標があるなら、勉強すべき理由を説明しやすいかもしれませんね。勉強する理由を親子で考えて、一緒に具体的な計画に落とし込むことで、やる気を引き出してみても良いですね。

学校の成績は意味ないのか？勉強する本当の意味とは？

学校の成績の変動により、一喜一憂する人も多いでしょう。

しかし、学校の成績に依存することは、かなり危険なものです。なぜなら、子供の能力は成績では表せられないし、成績が悪くても頭の良い子供はたくさんいるからです。本記事では、学校の成績は意味があるのかどうかや、勉強をする意味とは何なのかについてお伝えしていきます。

学校の成績に意味があるか、ないか学校で勉強する意味とは？

大人になって痛感する「勉強していればよかった」と思うことってある？

「勉強なんて意味がない」と言い放つ子供への私の意見まとめ学校の成績に意味があるか、ないか学校の成績と子供の学力は、全く関係ないものだと筆者は考えています。しかし、学校のテストは、これまでの努力が目に見える形になるので、改善の方法や劣っている部分分かるので、テストなどは意味があるでしょう。

じゃあ、成績とは、一体どんな意味があるのか？筆者が考える「学校の成績」とは、子供た

ちの競争心を煽る目に見える数値だと思われます。人は互いに競争をすることによって、成長をしていく生き物です。しかし、近年では「競争はダメ」「他人と競争するのは悪いこと」とされ、競争をすることが無くなりました。

そう考えると、学校の成績だけでは子供の能力を図ることができませんし、人生の方向性を決めるのも成績ではなく、その人の性格や経験などやつながりにあると思うのです。ただ、学校の成績が悪くても成功者として収めることができますが、単に成績が悪く人としての成長が無い人は、もちろん成功もできませんし貧しい思いをすることになるでしょう。学校で勉強する意味とは？学校で勉強をする意味とは、勉強をするという行為を習慣づけることだと筆者は考えています。

そもそも勉強とは学校で行うだけではなく、人生そのものが学びになることもあるのです。たとえば、楽をしてお金を稼ぎたいと思い、安易にネットの副業に手を出して騙されるのも、一つの勉強だと筆者は思います。ただ、騙されたことについてウジウジするのではなく、どうして騙されたのかを考え、改善をしていくことも大切でしょう。

人によっては、騙した側のやり取りを思い返し、ビジネスに生かすという人もいるかもしれませんが。そういう、色々な視点で物事を見れる人は、学校の成績が悪くても頭が良いと筆者は考えています。つまり、学校の勉強とは日々の努力を怠らないで、学習をするということ習慣づけるための行為だと筆者は考えているのです。

大人になって痛感する「勉強していればよかった」と思うことってある？結論を言えば、筆者は子供の頃に勉強をしていればよかったと、痛感したことは一度もありません。逆に、子供ならではの色々な経験をしたほうが良かったと、痛感することは非常に多かったですね。たとえば、自分なりに考えて物事をいろいろな角度から見れる力を、子供のころから養っておけば他の人になかったアイデアを生み出すことができます。

EQという非認知能力とは、粘る力や自分の感情をコントロールする力で、人の気持ちや立場に対する共感性を指すことが多いです。こうした非認知能力というのは、勉強ではなく遊びや人間関係で養われていくと言われていています。「勉強なんて意味がない」と言い放つ子供への私の意見ここまでの話を読む限りでは、学校の成績は余りにも無意味であり、勉強をする意味が無いような内容に思えたのではないのでしょうか。

学校の勉強は意味がないのかと言えば、全くそうではないとも言えます。学校の勉強とは何らかの問題を解決する能力が養われますし、何らかの挑戦意識を高めることも可能なのです。難しい問題が出てきたときに回答できる力がなければ、努力して回答できるようにします。つまり、学校の勉強とは「努力」「問題を解決する能力」「粘り強さ」などが、鍛えられる者だと筆者は考えています。必ずしも、学校の勉強ができれば良いというのではなく、問題を解決するための力を育てるという意味でも、勉強というのは大切だと言えるでしょう。

まとめ

子供が学校を卒業してから社会に出て必要なのは、社会的適応性だといえます。現実社会で、

どのように適応していくかが重要だと言えるでしょう。自分で考えて表現できる力や現状を把握して、先を読める力なども社会的に求められる能力だと言えます。確かに、学校の成績も大切ですし、テストで高得点を取るというのも重要かもしれませんが。しかし、成績やテストの点に気を取られて、本当に身につけなければいけない力をおろそかにすると、道を踏み外す可能性があります。子供の長い人生の先を見据えて、向き合っていけると良いですね。



著者：つかさ

日頃考えていることをつらつら書いています。少しでも共感してくれる人や日々のお役に立てばうれしいです(^▽^)/